

市民フォーラム



資料代
大人500円
(学生無料)

日時

2015年6月13日(土)
(受付開始) 12:00 (開会) 13:00 (閉会) 16:00

会場

鹿児島大学(郡元キャンパス)

広がる格差と貧困 ～子どもの貧困問題を考える～

いま、子どもの約6人に1人が貧困状態にあり、緊急の改善が必要です。親の低収入や失業、離婚、死去などによる経済状態の悪化は、子どもの貧困率16.3%と過去最悪を記録し、日本社会が突きつけられている深刻な大問題となっています。

しかし、安倍政権は格差と貧困を拡大させてきた経済政策「アベノミクス」をさらに加速させようとしています。また、「子どもの貧困対策法」が施行されてから1年以上経過していますが、政府の対策は大きく立ち遅れています。対策法は、「貧困の状況にある子どもが健やかに育成される環境」の整備などのため、教育・生活・経済的支援などの施策づくりを国や地方自治体の責務としています。

子どもの貧困対策の充実に向け、社会保障の連続改善をやめさせる運動を広く国民とともにすすめる立場から、子どもの貧困問題を市民とともに考えます。

コーディネーター

玉江 末広 氏 (鹿児島生協病院・小児科医師)

パネリスト

下之菌 優貴 氏 (白鳥法律事務所・弁護士)

福本 竹虎 氏 (県立高校教諭)

徳永 正朝 氏 (鹿児島生協病院・小児科医師)

天羽 浩一 氏 (社会福祉士)

主催

第42回 医療研究全国集会組織委員会 TEL03-3875-5871

公益財団法人 日本医療総合研究所 <http://iryousouken.jp/> 〒110-0013 東京都台東区入谷1-9-5 日本医療労働会館1F
日本医療労働組合連合会 <http://www.irouren.or.jp/> 〒110-0013 東京都台東区入谷1-9-5 日本医療労働会館3F